

授 業 目 名	生 理 学 I		授 業 形 態	講 義
			配 当 学 期	1 年 (前期)
担 当 教 員 名	山 田 真 輔		単 位 数	1 単 位
			時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 生理学は生命現象の仕組みや意義について、統合的に解明する生命科学です。また、専門基礎分野の根幹を成す重要な教科であり、他の教科の礎ともなります。生命活動に欠かせない人体機能維持システムや細胞生理、神経生理学や器官・臓器の生理学に至るまで、学習範囲は広いものとなりますが、教科書と配布資料を用いて授業を進行します。</p> <p>〔学習目標〕 各章ごとに設定します。それについて各自説明できるようになってもらいます。</p>			
授 業 回 数	授 業 の 内 容			
第 1 回	第 1 章 生命現象と人体	身体の機能についての総論 受動輸送と能動輸送		
第 2 回	第 2 章 細胞の構造と機能	細胞膜の構造や役割 静止膜電位と活動電位について		
第 3 回	第 2 章 細胞の構造と機能	核や細胞小器官の役割 セントラルドグマについて		
第 4 回	第 7 章 血液	赤血球における酸素運搬 凝固系と線溶系について		
第 5 回	第 7 章 血液	免疫細胞と各細胞の役割について		
第 6 回	第 8 章 心臓と循環	心臓の構造、全身の循環経路、刺激伝導系		
第 7 回	第 8 章 心臓と循環	心拍出量と血圧、心周期		
第 8 回	第 8 章 心臓と循環	前負荷と後負荷、循環器系を調節する因子、微小循環		
第 9 回	第 9 章 呼吸とガスの運搬	呼吸とは 各呼吸器の解剖 換気の運動学		
第 10 回	第 9 章 呼吸とガスの運搬	呼吸気量 ガスの運搬 呼吸の調節因子について		
第 11 回	第 10 章 尿の生成と排泄	ネフロンについて 尿量を調節する因子について		
第 12 回	第 10 章 尿の生成と排泄	排尿について 泌尿器系の神経支配について		
第 13 回	第 11 章 酸塩基平衡	アシドーシスとアルカローシス 呼吸性と代謝性		
第 14 回	第 12 章 消化と吸収	各消化器官の解剖と役割 消化酵素の役割		
第 15 回	第 12 章 消化と吸収	肝臓における代謝・解毒・胆汁合成について		
評 価 方 法	期末試験にて評価を行う。(100%)			
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野「生理学」第5版 医学書院			
履 修 上 の 留 意 点	特になし			
メ ッ セ ー ジ	<p>学習範囲が広く、専門用語も多いため、最初は戸惑うと思います。</p> <p>しかし、理解すると非常に楽しい分野でもあります。</p> <p>最後まで前向きに取り組んでください。</p>			